

王子が岳の観光開発の歴史

【古墳時代】

古墳時代		<ul style="list-style-type: none"> かつて児島（児島半島）は瀬戸内海に浮かぶ島だった。 唐琴のえびす谷に古墳が作られる。 ホネコツ堂古墳は、児島を開いた祖、『古事記』や『日本書紀』に登場する神話の中の神、建日方別命（たてひかたわけのみこと）をまつる。 昭和5年、発掘調査が行なわれ、剣などが発見される。 王子が岳付近に今も残る、8人の王子の伝説 8人の王子が児島の地にやってきて児島を開拓し、それぞれの地に落ち着く。 その後、王子の名前が場所をあらわす地名に変化する。 現在も、日の王子（日応王子）、峰の王子、谷の王子などが地名として残る。
------	--	--

【奈良時代】（710年～794年）

712年	元和 5年	<ul style="list-style-type: none"> 日本最古の歴史書『古事記』が完成する。 『古事記』の「国生み神話」によれば、大八洲（淡路島、四国、隱岐島、九州、壱岐島、対馬、佐渡島、本州）に続き、六島（吉備児島、小豆島、……）が誕生する。 吉備児島は、全国で9番目の島として誕生する。
720年	養老 4年	<ul style="list-style-type: none"> 『日本書紀』の「国生み神話」によれば、8番目に吉備子洲（きびのこしま）が誕生し、以上を大八洲国（おほやしまのくに）としている。
759年	天平宝字3年	<ul style="list-style-type: none"> 『万葉集』大伴旅人の一首 倭道の 吉備の児島を 過ぎて行かば 筑紫の児島 思ほえむかも

【平安時代】（794年～1192年）

886年	仁和 2年		<ul style="list-style-type: none"> 菅原道真、讃岐守（さぬきのかみ）に任命される。～890年（寛平2年）
889年 ～898年	寛平 年間		<ul style="list-style-type: none"> 菅原道真（菅公）が滞在した唐琴の円淨坊が焼失する。 坊内に建てた社が琴浦天満宮の創立と言われる。
901年 903年	昌泰 4年 延喜 元年 延喜 3年	2月	<ul style="list-style-type: none"> 菅原道真是、太宰權帥（だざいのごんのそち）に左遷される。 道真是失意のうちに59歳の生涯を閉じる。 唐琴に残る菅公伝説 菅公の三首 舟とめて 波にたゞよふ ことの浦 通ふは山の 松風のをと 風により 波の緒かけて 夜もすがら しほや引くらん 唐琴の浦 しらべより 今朝からことに 聞ゆるは 春の夕日に 引くあみの音
905年	延喜 5年		<ul style="list-style-type: none"> 紀貫之は、醍醐天皇の命により、『古今和歌集』を編纂する。 からことといふ所にて春のたちける日よめる 安部清行朝臣（四五六） 浪のをと けさからことに きこゆるは 春のしらべや あらたきるらん からことといふ所にてよめる 真静法師（九二一） 宮こまで ひゞきかよへる からことは 浪のをすげて 風ぞひきける ※唐琴の浦は、平安中期の頃には、都まで知られた美しい海岸であった。
1167年	仁安 3年		<ul style="list-style-type: none"> 西行法師が渋川、日比、八浜を訪れる。 おり立ちて 浦田にひろふあまの子は つみよりつみを 習ふなりけり ※浦田ヶ浜は、渋川海岸を指す。

【江戸時代】（1603年～1868年）

1617年	元和 3年		<ul style="list-style-type: none"> 『児島郡物成帳』に引網村が登場する。（物成とは江戸時代の地租）
1618年	元和 4年		<ul style="list-style-type: none"> 遅くとも1618年頃には、吉備の児島が、本州と陸続きになる。 『児島風土記』新田開発と児島（角田直一著）
1684年	貞享・元禄		<ul style="list-style-type: none"> 『吉備前艦』（吉備国風土記） 「昔此の浜に漁師引網にて仮を引揚たる故に名とす、……」 引網の地名の起り、天神社建立の縁起、八房の梅が、記載される。
1704年	元禄17年		<ul style="list-style-type: none"> 『備前記』 引網の家数46軒、男女凡310人余 妙見（現在の天津神社）、天神の二社の存在が記載される。

1707年	宝永 4年	10月	・宝永地震 M8.6が発生する。 (南海トラフ全域が震源域) 49日後に、富士山が噴火する。 (宝永大噴火)
1712年	正徳 2年		・『御手鑑帳』 引綱の家数47軒、317人 天津神社の建立年月は不詳。古来より鴻八幡宮の末社。 引綱の地に明現神社ありきが記載される。 徳川時代は明現社、妙見社と称えられたが、明治以後天津神社と改称される。
1715年	正徳 5年		・明現神社の本殿を再建する。 時の宮司は河本対馬 (鴻八幡宮宮司河本家の先祖) 札には、生徳五乙未歳十月五日(1715年)が記載され、鳥居には、文化十年 (1813年)が刻まれる。
1717年	享保 2年		・日比古浜 (塩田) が造られる。
1721年	享保 6年	8月	・『備陽記』、岡山藩土石丸定良が一生を費やして編纂した地誌 引綱の家数47軒、345人
1801年	享和 年間		・北前船が頻繁に下津井港に寄港する。 ・田の口村、上村、小川村で、小倉帶地、真田紐が製造される。
1804年	文化 年間		・引綱塩田が開墾される。 開墾者は吉田清兵衛 文化年間 (1804年～1818年)
1832年	天保 3年		・亀浜塩田、深井浜塩田が造られる。 (玉野市)
1839年	天保 10年		・「児島八十八カ所靈場巡り」が始まる。 児島柳田町、吉塔寺の住職円明和尚により開設される。 1周は35里5丁 (約140km)、四国八十八カ所巡りの10分の1の距離 唐琴の立江寺が第19番札所に選ばれる。 昭和10年代、王子が岳の花見時に、旧登山道の入口にある札所は賑わう。
1854年	嘉永 7年	12月	・安政東海地震が発生する。 32時間後に、安政南海地震 M8.4が発生する。

【明治時代】 (1868年～1912年)

1874年	明治 7年		●王子が岳の素晴らしい自然の景観を、乱開発や自然破壊から護り、後の世代まで大切に保全する為に、王子が岳が共有化される。 指導者は、石原治郎 (引綱村戸長)、西原勝三郎 『嶽共有山連名印鑑帳』 嶽の地主を説得してその全区画を買い取る。 93名が共同して所有する「共有山林」とする。 93割にして各株主に地券を交付する。
			●西原柳吉、西原宗一親子は、巨額の私財を投じ、王子が岳の山道を開き、数千本の桜を植樹する。
1878年	明治 11年		・相引池 (引溜池) の修繕 土堤の付替と樋の据え置替工事 人夫は延べ 1,425人 (石工、牛を除く) 財源は、郡村の補助金約 227円と、村民への賦課金 54円 10銭 『字引溜池修繕費明細帳』は、引綱村戸長石原治郎文書に残されている。
1882年	明治 15年		・西原亀太郎と清板定吉は、字長鼻 (松が鼻) の切貫 (切通) を発起し、完成させる。県道敷設の基となる。
1892年	明治 25年	12月	・引綱織物業組合が、組合員数92名で結成される。 『引綱織物業組合規則、引綱織物業組合細則、引綱町内規約書』が作られる。
1893年	明治 26年		・渾大坊益三郎が日比で製煉所を始める。
1896年	明治 29年		・天神の井戸の井戸枠の正面に梅鉢紋、左右に天満宮井、明治29年の文字が彫り込まれる。

【大正時代】 (1912年～1926年)

1917年	大正 6年		・旧三井物産株造船部が日比町 (玉野市) で創業する。
1921年	大正 10年		・唐琴の松井武平、「光輝疊縁」の製造を開始する。
1923年	大正 12年	9月	・関東大震災が発生する。

【昭和時代】 (1926年～1989年)

1930年	昭和 5年	11月	・鷺羽山が名勝に指定される。
1931年	昭和 6年	10月	・国立公園法が制定される。

1934年	昭和 9年	3月	・日本で最初の国立公園「瀬戸内海国立公園」が制定される。
	昭和 10年代		・王子が岳の桜園地は全盛時代を迎える。
1937年	昭和 12年		・旧三井物産㈱から分離独立し、(株)玉造船所が設立される。 1942年に三井造船㈱に改称。
1938年	昭和 13年	12月	・王子が岳は、鷺羽山とともに、国立公園の特別地域に指定される。
1946年	昭和 21年	12月	・昭和南海地震 M8.0 が発生する。
1950年	昭和 25年	5月	・由加山、通仙園、龍王山が特別地域に指定される。 現在、岡山県内にある5つの特別地域は、すべて倉敷市内にある。
1953年	昭和 28年	7月	・玉野市立玉野海洋博物館が開館する。
	戦後		<ul style="list-style-type: none"> ・風光明媚な王子が岳山麓、嶽山共有山林に、企業の保養施設が建設される。 ・企業の保養施設 現在の状況 <ul style="list-style-type: none"> (1)郵政省→三菱自動車 《建物》→ベルク離れ (2)住友化学 《建物》→(株)I T O N A M I (3)クラレ 《建物》→(株)そら (4)瀬戸内荘 (国の健康保険) 《建物》→解体 《土地》→ホールサムインせとうち →(株)アシストジャパン (5)クラボウ 《建物》→解体→太陽光施設 (自社) (6)東京製鉄 《建物》→解体→太陽光施設 (自社)
1961年	昭和 36年	1月	<ul style="list-style-type: none"> ●唐琴観光開発(有)が設立される。 (平成24年6月に株式会社に商号変更) 代表取締役 清板玉男 ・中国四国繊維雑品工業組合が設立される。 (畳縁、紐、テープ)
1962年	昭和 37年	9月	・第17回国体夏期大会ヨット競技が渋川で開催される。 皇太子御夫妻をお迎えする。
1967年	昭和 42年	8月	<ul style="list-style-type: none"> ●国民宿舎王子が岳、レストハウス、観光リフトが開業する。 県内外からの観光客で賑わい、地元住民の憩いの場所として親しまれる。 国民宿舎 →平成24年 3月 閉業 →平成25年4月 解体 観光リフト →昭和50年11月 休業 →昭和52年3月 解体
1968年	昭和 43年	3月	・「西原宗一翁之碑」、建碑される。 (明治初期、巨額の私財を投じ、王子が岳の山道を開き、数千本の桜を植樹)
		6月	・渋川瓶割池と長尾の中間から山林火災が発生、315ha焼失する。
			<ul style="list-style-type: none"> ・唐琴観光開発(有)、国道430号南側の土地 (現在は駐車場) を市に売却する。 ・唐琴観光開発(有)の賃貸借《建物》 <ul style="list-style-type: none"> (1)鶴鳴荘 岩国の元藩主吉川家邸鶴鳴館の離れ。 琴浦町が譲り受け現在地に移築 昭和43年に唐琴観光開発(有)に払い下げられる。 (2)帆影荘 国民宿舎建設工事の管理建物 (3)唐琴荘 住宅展示場の建物を購入、設置する。 (4)観橋荘 住宅展示場の建物を購入、設置する。 ※鶴鳴館 岩国の元藩主吉川家の邸宅。 岡山の後楽園に移転、昭和25年の岡山産業博の会場となる。
1971年	昭和 46年	3月	・「県道 王子が岳線」 (渋川～山頂) が完成する。
1972年	昭和 47年	5月	・王子が岳山頂の第1駐車場が完成する。(玉野市)
		9月	<ul style="list-style-type: none"> ・「岡山県渋川青年の家」が完成する。 ・農業用溜池 (中池、播東池) が決壊し鉄砲水が発生する。 家屋の全壊7戸、半壊3戸、床上床下浸水153戸の大被害をもたらす。 災害復興助成金5千万円。
1975年	昭和 50年	9月	・岡山県山岳スポーツクライミング連盟の山本謙副会長が、登山仲間と王子が岳でボルダリングを始める。 王子が岳は、国内のボルダリングの草分けの地として知られる。
		11月	・遊歩道 (渋川～王子が岳) が完成する。
			・王子が岳観光リフトが休業する。 (昭和52年3月に解体する)
1976年	昭和 51年		<ul style="list-style-type: none"> ・岡健太郎市議 (唐琴) の働き掛けにより、国民宿舎から王子が岳山頂に至る「遊歩道」の計画が、倉敷市総合計画の中に記載される。 王子が岳は山火事が多く、消火活動を想定した遊歩道の建設を働き掛ける。 ・昭和56～57年頃に、遊歩道が開通する。
1982年	昭和 57年	6月	・唐琴地区の有志が、「天神の井戸」を整備する。約100万円

1983年	昭和58年	2月	<ul style="list-style-type: none"> 王子が岳で山林火災、60ha焼失する。 王子が岳の復旧治山工事、三か年計画、総事業費2億4千万円
1986年	昭和61年	6月	<ul style="list-style-type: none"> 王子が岳の第2、第3駐車場が完成する。（玉野市） 「王子が岳パークセンター」（玉野市）が完成する。……倉敷地内
1987年	昭和62年	1月	<ul style="list-style-type: none"> 渋川海岸が「日本の白砂青松100選」に選定される。
1988年	昭和63年	3月	<ul style="list-style-type: none"> 唐琴自治会が『唐琴の歴史と伝承』を発行する。 編集委員長 大谷壽文（唐琴公民館館長、平成22年倉敷市文化章受章）
		3月	<ul style="list-style-type: none"> 王子が岳山頂に、県の施設「野外ステージ」が完成する。……玉野市地内
		4月	<ul style="list-style-type: none"> 瀬戸大橋が開通する。 瀬戸大橋線が、全面開業する。
		4月	<ul style="list-style-type: none"> 瀬戸大橋から日比港の間で、「瀬戸大橋開通ヨットレース」が開催される。 「第15回全日本選手権大会瀬戸大橋カップジャパンボートセーリング大会」が開催される。
		7月	<ul style="list-style-type: none"> 瀬戸内国際マリンホテルが開業する。
		8月	<ul style="list-style-type: none"> 渋川で「第13回全国少年少女ヨット大会」が開催される。

【環境庁の置土産】

1988年	昭和63年	12月	<p>●玉野市出資による第三セクター、王子リゾート㈱が設立される。</p> <p>旧環境庁所管の特殊法人公害防止事業団（環境事業団）が、国立公園施設整備事業の第1号として、40億円内外の費用をかけて建設する「王子アルカディアリゾートホテル」（玉野市地内）の運営を目的に設立される。</p> <p>当初の計画は、王子リゾート㈱が、完成した建物と土地を購入し、30億円かけて内装を行い、平成5年頃より運営を開始する。償還期間は約20年。</p>
1993年	平成5年		<ul style="list-style-type: none"> バブル崩壊の影響で、王子リゾート㈱への出資企業が撤退、2億円内外の頭金を支払うも、着手されてた内装工事代金3億円内外を支払うことができず、工事は中断、ホテル建設は頓挫し放置状態となり、会社も休眠化する。
2006年	平成18年	5月	<ul style="list-style-type: none"> 王子リゾート㈱のホテル不動産は、一度も開業に至らぬまま、競売により地元不動産業者に売却される。
2010年	平成22年	3月	<ul style="list-style-type: none"> 未完成のホテルは、建設着工から30数年が経過した今日も、そのまま置き去りにされている。
2011年	平成23年	3月	<ul style="list-style-type: none"> 王子リゾート㈱は、株主総会で解散を決議する。 王子リゾート㈱は、岡山地方裁判所より特別清算の開始決定を受け解散する。負債総額は38億円内外

【平成時代】（1989年～2019年）

1989年	平成元年	3月	<ul style="list-style-type: none"> 王子ファンシーランドが開園する。……玉野市地内 瀬戸大橋カントリークラブが開業する。……〃 渋川動物公園がオープンする。……〃
1991年	平成3年	9月	<ul style="list-style-type: none"> 「第1回鳥人幸吉杯パラグライダー大会」が王子が岳で開催される。
1992年	平成4年	3月	<ul style="list-style-type: none"> 「桜の名所の復活」を合言葉に、山梨県武川村の「神代桜」の若木を、王子が岳の桜園地に移植する。
		3月	<ul style="list-style-type: none"> 王子が岳山頂の第1駐車場に、公衆トイレ（県）が完成する。……玉野市地内
		10月	<ul style="list-style-type: none"> 唐琴観光開発（有）と岡山県PGライト協会は、協会が玉野市パークセンターの西斜面をパラグライダーの基地として使用する契約をする。
1994年	平成6年	8月	<ul style="list-style-type: none"> 王子が岳渋川登山道付近から出火、56時間燃え続け370ha焼失する。 王子が岳山頂の第1駐車場の公衆トイレが焼失する。 日応神社（お日応さま）の木造拝殿が焼失する。
		12月	<ul style="list-style-type: none"> 唐琴観光開発（有）と延寿院は、延寿院が獄山を修驗場として使用する契約をする。
1995年	平成7年		<ul style="list-style-type: none"> 王子が岳山頂、第1駐車場の公衆トイレが完成する。（玉野市）
1996年	平成8年	4月	<ul style="list-style-type: none"> 王子ファンシーランド跡地におもちゃ王国が開園する。

		7月	・渋川海岸が「日本の渚100選」に選定される。
1999年	平成11年	10月	・「第10回王子が岳パラグライダー大会」が開催される。
2004年	平成16年	3月	●児島商工会議所が中心となり「瀬戸内海国立公園指定70周年記念事業実行委員会」が組織され、各種記念事業が実施される。 唐琴自治会清板幸一郎会長（平成16年4月～平成26年3月）が、実行委員会に参加する。
		3月	ファッショントタウン児島推進協議会のメンバーと地元唐琴地区住民総勢250人は、環境省、岡山県、倉敷市の職員の指導により、王子が岳山頂の雑木を伐採、その後、山頂斜面一面に「芝張り」を行なう。800m ²
		4月	実行委員会は、王子が岳レストハウス東側にメモリアルベンチを設置する。
		4月	・王子が岳レストハウス（倉敷市）がリニューアルオープンする。 総事業費は約3千万円、地下部分は閉鎖
		4月	・瀬戸内国際マリンホテル跡地に、ダイヤモンド瀬戸内マリンホテルがリニューアルオープンする。
		8月	・台風16号により、唐琴、日比、渋川は、高潮で大被害を受ける。 ・「鷺羽山の景観を考える会」が設立される。 2010年、平成22年3月 NPO法人を取得する。
2005年	平成17年	3月	●唐琴自治会、唐琴観光開発有が中心となり、「王子が岳の景観を楽しむ会」を設立する。 以後毎年3月に、王子が岳の景観を楽しむ会は、児島、玉野の両商工会議所、倉敷、玉野の両市の参加を頂き、山頂周辺の雑木の剪定作業を実施する。
		9月	・岡山国体のビーチバレー競技が渋川で開催される。
2006年	平成18年	9月	・「第1回サンセットフェスタ in 児島」が鷺羽山で開催される。 王子が岳の景観を楽しむ会と唐琴自治会が、実行委員会に参加する。
2007年	平成19年	5月	・「第2回サンセットフェスタ in 児島」が鷺羽山で開催される。
		9月	「第3回サンセットフェスタ in 児島」が王子が岳で開催される。 以後毎年、年に1～2回、鷺羽山と王子が岳で交互に開催され、今日に至る。
		9月	・「第1回おかやまビーチサッカー大会 in 渋川」が開催される。
2008年	平成20年	1月	・ファッショントタウン児島推進協議会と地元団体は、「鷺羽山山頂のエレベーター建設に反対（署名16,537人分）」を倉敷市に陳情する。
		5月	・伊東香織氏、倉敷市長に就任する。 「鷺羽山山頂のエレベーター設置計画」の見直しを優先課題に挙げる。 計画は中止される。
2010年	平成22年	4月	・「NPO鷺羽山の景観を考える会」が、鷺羽山ビジターセンターの指定管理者になる。
		5月	・水生大海の推理小説「少女たちの羅針盤」が映画化される。 王子アルカディアリゾートホテル（未開業）がロケ地となる。
		7月	廃墟となったホテルは、心霊スポットとしてネット上で更に拡散する。
		10月	・「瀬戸内国際芸術祭2010」が開催される。 期間は、2010年7月19日（海の日）～10月31日の105日間。
			・海辺の創作レストラン「帆風」が、オープンする。
2011年	平成23年	1月	・唐琴観光開発有は、会社設立50周年を迎える。（昭和36年1月設立）
		5月	・唐琴観光開発有の定時株主総会で、取締役、監査役の辞任に伴い、新取締役、新監査役が選任される。 代表取締役：清板祝士、取締役：高田幸雄、角南平治、監査役：清板圭輔
2012年	平成24年	1月	●児島商工会議所が中心となり「吉備の児島 古事記編纂1300年 実行委員会」が組織され、各種記念事業が実施される。 (1)『むかし児島は、島だった!』のパンフレットが完成する。 古事記に登場する「吉備の児島」が、江戸時代の初めに干拓で本州と陸続きになり、干拓地には塩分に強い棉が栽培され、「国産ジーンズ発祥の地、児島」へと発展していく「児島の繊維産業発展の物語」を発信する。 (2)産業、歴史、文化、アートを同時に発信しながら「児島産地、丸ごとブランド化」を目指すことを宣言する。 9年計画（～2020年、日本書紀編纂1300年）

		3月	(3)児島地区の回遊式産業観光を推進する。 唐琴地区的産業観光 産業(畠縁、真田紐)、食(いしはる、帆風)、観光(王子が岳) ●国民宿舎王子が岳は、建物の老朽化に伴い閉館、44年の歴史に幕を閉じる。 (改修耐震補強工事費の見積りは約12億円に及ぶ→解体) 宿泊客 1988年度 昭和63年 25,017人(ピーク) 2010年度 平成22年 10,711人 平成16年度から指定管理者制度を導入する。 平成19年4月～平成24年3月、シダックスフードサービスが指定管理者
2013年	平成25年	4月	●王子が岳国民宿舎の解体工事が始まる。 ・王子が岳の落石防止工事(レストハウス南西)が継続して行なわれる。
2014年	平成26年	3月	●児島商工会議所が中心となり「瀬戸内海国立公園指定80周年 記念事業実行委員会」が組織され、各種記念事業が実施される。 王子が岳の景観を楽しむ会清板祝士代表と唐琴自治会瀬野純一会長(平成26年4月～平成元年3月)が、実行委員会に参加する。 ・唐琴観光開発㈱／①太陽光発電設備を設置する。(㈱池田製紐所の屋根) ・畠縁ファクトリーショップ「FLAT」のオープンにより、唐琴地区の産業観光に勢いがつく。 ・児島地内の国立公園の特別地域を巡るウォーキングイベントが開催される。(王子が岳コース、他)
2015年	平成27年	3月	・「おかやまビーチスポーツ協会」が設立される。会長三宅定子氏 目指すは、2020年東京五輪のビーチバレー事前キャンプ誘致。 4月 ・「瀧川、王子が岳活性化推進協議会」が設立される。(玉野市)
2016年	平成28年	4月	●唐琴観光開発所有の国民宿舎王子が岳の跡地が、倉敷市から返還される。
		5月	・唐琴観光開発㈱／②太陽光発電設備を設置する。(旧東京製鉄の跡地)
		7月	・唐琴観光開発㈱は、倉敷市に対し、国民宿舎王子が岳の跡地借り上げの要望書を提出するが、実現に至らず。
		8月	・王子が岳が、m i w a と坂口健太郎主演の映画「君と100回目の恋」のロケ地となる。平成29年2月公開。
2017年	平成29年	2月	・唐琴観光開発㈱役員は、地元不動産業者所有の王子アルカディアリゾートホテルの内部を視察する。
		5月	●唐琴観光開発㈱は、国民宿舎跡地を、再び多くの皆さんに楽しんで頂くことを目的に、憩いの場所、公園として整備することを決議する。行動を開始する。 (1)平成24年3月の閉館から数年の間に、国民宿舎王子が岳の跡地は荒れ放題、庭園の樹木は伸び放題で完全に山林化する。 (2)国民宿舎跡地の樹木の伐採、樹木の60cmカットを業者に発注する。(60万円) (3)60cmの長さにカットした樹木を山から搬出し、草刈作業を繰り返す。 (4)秋には、古い石畳が出現、目指す公園の姿を取り戻すことが出来た。 ※その後も、年間を通して清掃作業を継続する。 令和3年12月に、5度目の冬を迎える。
		8月	
		10月	
		7月	・唐琴観光開発㈱／③太陽光発電設備を設置する。(旧クラボウの跡地)
		10月	・喫茶店「ベルク」開店 店長北村健太郎氏 王子が岳山頂付近をパラグライダーの離陸場として利用する県PGライト協会が、休業中の王子が岳パークセンターを管理する玉野市観光協会に、活用案を提案し採択される。
2018年	平成30年	1月	●児島商工会議所が中心となり「瀬戸大橋開通30周年 記念事業実行委員会」「吉備の児島 陸続き400年 記念事業実行委員会」が組織され、各種記念事業が実施される。 王子が岳の景観を楽しむ会が、実行委員会に参加する。
		3月	・写真集「児島八十八ヵ所靈場」が完成する。
		4月	・国民宿舎跡の西側に、あずまやが設置される。(倉敷市)
		4月	・児島、玉野の両商工会議所は、国道430号線の愛称を公募する。

		<p>「王子マリンロード430（よんさんまる）」に決まる。 ※陸続き400年、瀬戸大橋開通30年 → 400 + 30 = 430</p> <ul style="list-style-type: none"> 宇野港土地㈱が、無人島豊島に、キャンプ場を開業する。 児島沖約2キロ、広さ約12ha 国道430号の南側駐車場に、トイレが新設される。（倉敷市） 「おかやまビーチスポーツ協会」は、サッカー元日本代表監督ジーコ氏の講演会を渋川海岸のホテルで開催する。 目指すは、2020年東京五輪のビーチバレー事前キャンプ誘致と「ビーチスポーツの聖地」 王子が岳の桜園地の樹勢回復作業を行なう。4～5年計画 樹木医原田照太氏の指導の下、地域住民約100人が参加する。 「爽快！岡山満喫サイクリング事業」 推奨8ルートのマップが完成する。 「倉敷・玉野シーサイドルート」距離90km、最大標高差219m (倉敷美観地区→児島ジーンズストア→鷲羽山→王子が岳 →王子マリンロード430→道の駅みやま公園→由加山) 玉野市出身の映像制作プロデューサー岡本英之氏は、「ボルダリングの聖地、王子が岳」を中心に、クライミングや音楽のイベント「瀬戸内JAM'18」(第1回)を開催する。以後、毎年開催する。 「ボルダリングマップ」が完成する。目指すは「ボルダリングの聖地」 ※スポーツクライミング……「ボルダリング」「リード」「スピード」 ボルダリング漫画「壁ドン！」(佐久間力氏作)が、小学館のコミック誌で連載される。
--	--	---

【令和時代】(2019年～)

2019年	令和元年	3月	・ボルダリング漫画「壁ドン！」の作者佐久間力氏が、王子が岳を取材する。
		4月	・「(一社)渋川マリンアクトビティ」が設立する。代表理事安原賢一氏
		4月	・国道430号の南側駐車場が舗装化される。倉敷市の平成30年度予算
		9月	・エブリデニムは、宿泊施設「デニムホステル フロート」開設に向けて、「晴れ！フレ！岡山」を活用し、クラウドファンディングを開始する。
		10月	・ボルダリングを題材とした「壁ドン！」(小学館)の第3巻で、ニコニコ岩が登場する。
		12月	・大杉徹氏(総社出身)は、王子が岳でスラックラインの日本記録を更新する。 101m→194m(2020.12)→218m(2021.3)
		12月	・四国フェリーの宇高航路が休止される。
2020年	令和2年		・玉野市出身で映像制作プロデューサーの岡本英之氏、ニコニコ岩の専門サイト「ニコニコ岩.jp」を開設する。
		4月	・天神の井戸の西に、ゴミ対策としてクッションドラムを設置する。
		7月	・新型コロナウィルスの影響で、王子が岳山頂が、県内外からのお客で賑わう。
		8月	・県観光キャラバン隊は、PR動画を制作し、第一弾を公開する。 「ニコニコ岩」「お団子岩」「ねずみ岩」「ひつじ岩」などが紹介される。 一日で周遊できるモデルコースとして、王子が岳と美観地区を売り込む。
		10月	・唐琴観光開発㈱は、王子が岳案内図を帆風西の駐車場の北側に設置する。 (事業費約50万円)
		12月	・倉敷市は、王子が岳レストハウスを短期間暫定で利用する民間事業者の募集を開始する。募集期間は、2021年9月末まで。
			・渋川、王子が岳活性化推進協議会(玉野市)主催の王子が岳山頂の清掃活動に唐琴観光開発㈱が初参加する。
2021年	令和3年	1月	・唐琴観光開発㈱は、会社設立60周年を迎える。(昭和36年1月31日)
		2月	・玉野市出身で、ベネチア国際映画祭で、監督賞(銀獅子賞)を受賞した「スペイの妻」のプロデューサーの岡本英之氏が制作した「玉野市を国内外に発信するプロモーションビデオ」が公開される。
		5月	・唐琴観光開発㈱の役員(～今日に至る) 代表取締役：清板祝士 取締役：高田幸雄、角南平治、清板英二郎、奥野貴章 監査役：清板圭輔、清板一浩
		5月	・①岡山県に、「新型コロナウィルス感染症 緊急事態宣言」が発令される。 (5月16日～5月31日)

		5月	・玉野市は、渋川観光駐車場に、看板「ようこそ玉野市へ！渋川・王子が岳観光地マップ」を設置する。
		6月	・②岡山県に、「新型コロナウイルス感染症 緊急事態宣言」が発令される。 (6月1日～6月20日)
		6月	・国民宿舎の跡地で、マルシェが開催される。10月に第2回目が開催される。
		8月	・③岡山県に、「新型コロナウイルス感染症 緊急事態宣言」が発令される。 (8月27日～9月12日)
		8月	・玉野市は、王子が岳山頂付近を封鎖し、野生イノシシの捕獲に乗り出す。
		9月	・唐琴観光開発㈱は、ホームページを立ち上げる。 王子が岳案内図（大看板）下にQRコード板を取り付ける。
		10月	●令和3年度倉敷市市民提案事業に、王子が岳の景観を楽しむ会の企画が4月に選ばれる。事業期間は、10月から翌年3月。 王子が岳レストハウス「天空の館」を拠点に、文化に触れながら、ゆっくり、ゆったり景観を楽しんで頂く為に、各種事業に取り組む。館長は角南平治氏
		10月	・倉敷市が管理する「市道王子が岳登山道路」の整備の件で会議を開催する。 備中県民局（建設部維持補修課、農林水産事業部森林整備課）、児島支所、県議、市議、王子が岳の景観を楽しむ会、唐琴自治会、唐琴観光開発㈱
		11月	・唐琴観光開発㈱の清掃日、範囲を広げ、天神の井戸周辺の雑木を剪定する。
		12月	・渋川、王子が岳活性化推進協議会（玉野市）が、山頂一体を清掃する。 2017年から、清掃活動を行なっている。
2022年	令和 4年	1月	・日テレ「笑神様は突然に…」、王子が岳でのスラックラインが放映される。
		1月	・④岡山県に、「まん延防止等重点措置」が適用される。 (1月27日～2月20日～3月6日)
		1月	●倉敷王子ライオンズクラブ（瀬野純一会長）が認証50周年記念として桜の木を植樹する。記念のセレモニーが開催される。
		2月	・ボルダリングと音楽の祭典「瀬戸内J AM '22」（第5回）が、宇野港で開催される。東京五輪スポーツクライミング女子銅メダリスト野口啓代氏によるミニボルダリング教室が開催される。
		2月	・倉敷市は「王子が岳レストハウス」（築54年）の建替方針を新聞発表する。
		4月	●王子が岳国民宿舎跡地は、「王子マリンパーク」としてスタートする。
		4月	・「瀬戸内国際芸術祭2022」が、4月から開催される。
2023年	令和 5年	9月	・関東大震災発生から満100年を迎える。
2024年	令和 6年	3月	<p>●瀬戸内海国立公園指定90周年を迎える。 《提言》 シンポジウム「瀬戸内海国立公園指定100周年に向けて」を開催する。</p> <p>※10年後の王子アルカディアリゾートホテル（環境事業団が建設）を考える。 ※廃墟ホテルの解決なくして、国立公園指定100周年の国家的祝賀行事の成功なし。</p>
2025年	令和 7年	4月	・「大阪・関西万博」が開催される。（4/13～10/13）
		4月	・「瀬戸内国際芸術祭2025」が開催される。
2034年	令和16年	3月	●国立公園指定100周年を迎える。 昭和9年3月16日に、瀬戸内海国立公園など3箇所が指定される。 昭和9年12月4日に、阿寒摩周国立公園など5箇所が指定される。

資料作成日 2022年、令和4年4月1日

資料作成者 唐琴観光開発株式会社（文責 高田幸雄）

参考文献 「唐琴の歴史と伝承」 大谷壽文著
 「琴浦の歴史散歩」 大谷壽文著
 「児島風土記」 角田直一著
 「ひびきなだ」 ひびきなだ文化研会
 山陽新聞、他

協力 倉敷市文化観光部観光課
 玉野市商工観光課
 児島商工会議所
 玉野商工会議所